

の 広報

さざ

昭和64年

1月(第159号)



上空から市街地を望む

謹賀新年

町の総人口

【12月1日現在】

総人口	12,289人
男	5,844人
女	6,445人
世帯数	3,726世帯
出生	13人
死亡	7人
転入	41人
転出	40人

年頭のごあいさつ

健康で明るく豊かな

うるおいのある町づくり



佐々町長

清原 恵一郎

昭和六十四年の新春を迎え、謹んでお喜び申し上げます。新しい年が皆様にとって、

幸せ多い年でありますことを心からお祈り申し上げます。

昨年中は、大きな災害もなく、国内景気は回復の兆が見られたものの、国際社会の中では、日本経済についての注文は多く厳しさを強いられ、地方自治体への影響は一層憂慮させる状況であります。

そのような中、昨年は、新たに立地いたしました西九州ソウイング株式会社が十二月に操業を開始し、山喜株式会社関連会社の一大拠点として

始動しております。

当工場は、九州地区の管理センターとしての役割を持ち、町の振興に、また、町のイメージアップに大きな力になるものと思っております。

こうした背景の中で町政も「健康で明るく豊かな」うるおいのある町づくりを目指して、健康づくりの推進、水資源の確保（上水道の水源の拡大）、干拓地の利用計画の策定など着実に遂行することができております。

これも、ひとえに町議会をはじめ町民皆様のご理解とご協力のためものであり、ここに衷心より感謝申し上げます。これからの町政を進めるに当たりましては、二十一世紀への橋渡しを目指して、現在そして将来への課題を一つひとつ解決し前進していくことが必要だと考えております。

今後更に、きたるべき成熟社会と、到来するであろう高齢化社会、さらに多様化する行政需要に対応するため、

諸施策を推進していく所存であります。

私は、先程述べました様に町政の目標として「健康で明るく豊かな」うるおいのある町づくりを目指して、昨年より取り組んでまいりました

一、健康づくりの推進

一、水資源の確保（上水道の水源の拡大）

一、干拓地の利用計画の策定と計画の推進

一、干拓地の利用造成に伴う小浦地区の湛水防除事業の着手

一、道路網の整備

一、下水道建設基本計画の策定

一、元療養所跡地に老人保健施設（中間施設）の誘致

一、公営住宅の建設

一、中学校の増築（九教室）を進めます。

更に、国道二〇四号線大野く真申バイパス、県道志方く大茂く江里線改良、県道相浦真申線拡中改良工事など国、県工事の早期完成の促進を図ってまいります。

また、オレソジ、牛肉の自由化と米の減反対策として温州ミカンの質の向上、優良畑の確保のため品種の更新、ハウス栽培の促進、和牛の銘柄確立のための優良繁殖牛の

増頭、飼料畑の基盤整備、いちご、メロン、キュウリなど施設園芸の拡大と品質向上による本町の特産品づくりをすすめると共に、農場、農道等の基盤整備を行ない土地利用の高度化を図りながら中核農家の育成を推進し、国際競争力及び産地間競争に對抗し得る農業の実現を目指します。

商、工業につきましては、関係者のご努力により驚異的に発展してまいりましたが、今回新たな大型ショッピングが進出することになっており既存の商店に与える影響は甚大なものがあると思われま

この対策は緊急を要するものと考えますので、関係者の皆さんと智慧を出し合い、協力して商店街の基盤整備などを行ない消費圏の拡大を図り一層の発展を計る施策を施したいと思っております。

今後とも町政について皆様方のご意見、ご要望をお聞きしまして、充分検討し、また議会ともよく協議しまして町政推進に努力し新しい時代に対応する町づくりを目指す決意であります。

今後とも皆様のご指導とご協力をお願い申し上げます、新年のごあいさつといたします。

昭和六十四年元旦

町民憲章

- 一、健康で明るい家庭をつくりましょう
- 一、老人をうやまい健全な青少年を育てましょう
- 一、きまりを守りよい風習を育てましょう
- 一、意見をだし合い人の和を尊びましょう
- 一、教養を高め文化の向上につとめましょう
- 一、自然と公のものを大切に、町の美化につとめましょう

町民提案箱を

ご利用下さい

皆様の声を町政に反映させるため、今度、町民提案箱を役場庁舎に設置しました。

町政に対する要望、ご意見日頃思っておられること、どんなことでも結構です。お気軽に皆様のお声をお聞かせ下さい。

提案箱

佐々町

町政の努力目標に向って最善の努力を!



議長 佐々町議会議長 松永 茂

第でございます。

新年度は短期中長期事業計画の中でそれぞれ

の段階を併せ考えながら事業を推進する事が必要であり、幸いに我が佐々町は先人の偉業を譲り受けた諸施設

一九八九年輝く新春を迎え謹んで皆様方のご多幸とご健勝をご祈念申し上げます。

旧年中は町政振興並びに議会運営に多大のご指導ご鞭撻を賜り心から厚くお礼と感謝申し上げます。

さて、過去年間を振り返り見ますに我が国景気動向は全国的に一応安定回復の兆しを見せており国際的には貿易収支の問題に依る日本に対する列国の視線は誠に厳しく円高ドル安の経済情勢の年でありました。

我が佐々町にとっても例外でなく厳しい行財政再建の中で小康を得たのは天候に恵まれた米作が豊作であった事に次ぎ企業誘致の西九州ソウイング(株)が十二月一日開業し佐々町町政の活性化を図る事ができました事と皆様と共にお慶び申し上げます。

今後の課題は比業の施設を有効に活用して佐々町が誇れる教育の町、福祉の町づくりに専念すると共に各、商・工農林各産業の発展策を図る事が肝要であり、これ等総ての町政振興の為に全町民の皆様方の総意を結集したご指導ご鞭撻が必要不可欠でございますので何卒、本年もよろしくお願い申し上げます。

海外諸情勢は二十一世紀に向って益々国際化、情報化、高齢化の怒とう渦中の中で互に対応する確実なる態勢強化が要求されています。我が佐々町としては町政の推進指標である「明るく健康で希望に満ちた町づくり」のため努力しなければなりません。この町政の推進指標を達成する為次の町政の努力目標に向って最善の努力を傾注する所存

でございます。

一、干拓地の活用

基本計画の設定を急ぎ国道二〇四号線への取付道路の整備(真申、美渡瀬越、小浦古釜、干拓地)

二、企業誘致

誘致箇所の設定整備と企業の誘致実践活動(例えば干拓地療養所跡地、鉄道遊休地、美渡世越等整備と在京知人、友人、親せき縁故者に依頼し誘致企業の情報収集に努める等)

三、公営住宅建設

石臼末永地区に公営住宅建設に努力する他

四、水資源の確保

飲料水、下水道、企業誘致の為、水資源(水利権)の確保(広域ダム等)

五、下水道整備

下水道整備の条件整備(広域的、地域的、その他)

六、その他の産業育成強化(農、工、商、林産業他)

以上、当面町政の目標としてこれが実現の為、全町民皆様方のご支援、ご協力を節にお願ひ申し上げる次第でございます。

最後に町民皆様方の今後益々のご健闘あらんことを祈念申し上げます。

昭和六十四年 元旦

今年己年

た、白い蛇を家の神とする信仰も各地にみられます。

今年己年、すなわち蛇年です。蛇は、十二支のなかの唯一の爬虫類ですが、古くは恐竜、現代では亀やトカゲ、ワニなどの仲間です。

蛇と聞いただけで、嫌悪感をもよおす人もいます。ところが、それは多分にあのグロテスクな姿のせいです。脚部の退化・消失してしまった細長

いからだが、S字型を書くようにくねくねと動く様子は、蛇独特のもので

あ、細長いからだで、内臓はどうなっているのだろうか? ご心配には及びません。内臓も体に合わせて細長く伸びているほか、腎臓など本来は左右にあるべきものが、前後に位置を占めておさまっているそうです。

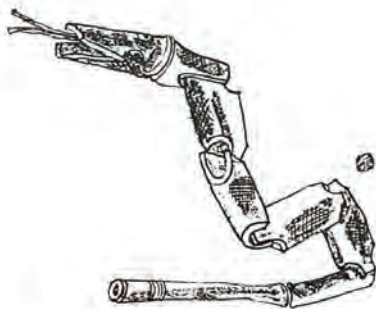
蛇は古来、恐れられ排斥される一方で、崇拜と畏敬の対象でもありました。日本では神のお使い、あるいは神そのものと思われていた様子が、古典や伝説、昔話に多くみられます。

例えば、池や沼の主を大蛇とみて雨ごいをする風習は全国的にあるといわれます。ま

ところで、蛇は集団をつくらないといわれます。蟻などのような社会組織や集団生活の例は、まったく知られていないということです。

いつも「ひとり」で孤独な生活をしています。そのため、異性と出会う機会がたいへん困難だということです。ちょっとさびしい話ですね。

ところで、蛇は、生きている間ずっと成長し続けます。発育にもなると、古い皮は三か月に一度定期的に脱ぎ捨てられ、新しいのと取り換えられる——脱皮です。お正月を機に今年こそは新しい試みをと、脱皮を心がけておられる方、うまくいくといいですね。



新年を迎えて



長崎県知事

高田 勇

ふれあいあふれる社会と
快適な環境を子や孫に

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。
県民の皆様には、ご健勝にて新しい年をお迎えになられたことと存じます。

私も、心を新たに二十一世紀に向け、「長崎県らしい人づくり・物づくり・事づくり」の基本理念のもとに、これまで以上に県勢の振興と県民皆様の幸せを願って、全力を注ぐ決意であります。

さいわい、県民皆様、県選出国会議員、県議会、各市町村のご協力とご支援により、多年の懸案となっております各種のプロジェクトをはじめ、今や県勢は目に見えてしっかりと動き出しております。すなわち、昨年十月には五島石油備蓄基地が操業を開始しました。今年、三十五年間の懸案であった諫早湾干拓事

業も本格的に着工、総事業費八千億円もの松浦火力発電所の一号機も七月に運転開始、さらに昭和四十八年着工以来十六年間の課題であった新長崎漁港も九月下旬に供用開始するなど、ビッグプロジェクトが着実に解決、進展いたしております。

また、私は、当面の最大の課題は道路であると存じ、これに格別の力をいれてまいりましたが、おかげさまで大動脈の九州横断自動車道は、鳥栖以西最後の工事区間の大村・武雄間も急ピッチで工事が進められており、さらに、現在二車線の長崎バイパスの四車線への拡幅と西山までの延伸、川平から二〇四号国道に通ずる川平有料道路等が本年末から六十四年度中にかけて次々と開通の運びとなっております。

ります。
また、九州横断自動車道の武雄から分れて佐世保に至る道路の佐世保・波佐見間が昨年三月に開通いたしました。残る波佐見・武雄間も六十四年度末までには完成することとなっております。それに加えて、都市周辺のバイパス道路、都市内道路の整備につきましても、最大の努力を傾けております。

県の袋路性を解決し、島原地域の振興の大きな鍵となる島原・天草・長島架橋や、女神大橋の推進にも努力したいと思っております。

長崎・韓国間の交通網の整備が一段と脚光を浴びている今日、昨年十二月から長崎・ソウル間の国際航空路が開設されたのはじめ、十月には長崎・济州島間にジェットフォイルが就航いたします。これは、日韓時代の幕開けともなることであります。離島と本土間の交通網の整備にも格段の努力をいたしております。また、昨年十月、福江空港の滑走路延長事業の完成に伴い、ジェット機が就航するとともに、六十五年には長崎・五島間、六十六年には博多・壱岐間にジェットフォイルが就航することになりました。

また、外からの経済力を導入し、雇用の場をつくって県勢の活力をはかるため、一町一企業を目指した企業誘致に全力を尽くしておりますが、知事就任以来、既に百七社が立地しており、特に昨年は過去最高の三十九社が立地しました。

企業誘致と並んで地域産業の研究開発機能の強化や新技術の導入を促進することを目的として、長崎県工業技術センター（仮称）、ナガサキ高度技術開発センター（仮称）を大村市に建設中であり、また、古き良きものを保存するとともに若者に魅力のあるまちづくりをすることが大切であり、長崎港再開発計画も今年はいよいよ倉庫群の本格的解体が行われることとなります。

長崎らしいリゾート開発として、東のデイズニートランドにも匹敵するハウスステンボス計画も、伊王島の開発と並んで昨年十二月に差工しました。このように、今年は特に、具体的に県勢は進展してまいります。一方、造船、炭鉱などの厳しさは続くほか、農産物輸入自由化でオレンジ・牛肉に加えて米が話題にされるなど、厳し状況も予想さ

れます。

そこで、これからも技術革新に対応したソフトウェア開発並びに教育を行う企業の誘致、地元中小企業のハイテク化、農産物輸入自由化対策の充実、園芸一〇〇億の推進畜産基地の促進、国際マリン都市構想の実現を図るとともに、ナガサキ・エキゾティック・リゾート構想、観光、国際交流を進めます。また、高齢化社会にふさわしい福祉、教育、文化など各分野の施策推進に総力をあげて取り組む所存であります。なかでも、本県の経済浮揚のために県をあげて取り組んでいる長崎「旅」博覧会は、開催までわずか五七九日となりました。長崎の持つイメージを演出しながら、全県土を舞台に「旅」の魅力を満喫してもらおうと思っております。県民の皆様との絶大なるご協力をお願いいたします。

私は一六〇万県民皆様の文化に香る豊かな暮らしを築きふれあいあふれる社会と快適な環境を子や孫に誇りをもって引き継いでいくことに私の責務があると思っております。県政に対して、旧年に倍するご支援、ご指導をお願い申し上げます。

成人おめでとう

あなたの行動力が社会に生きる

●はたちと選挙権●

社会のためにあなたの価値ある一票を

二十歳になると、国の政治や地方の政治に「一票」を投じることができるよう選挙権が与えられます。ところが、「選挙人名簿」に名前が登録されていないと、通常は選挙権があっても投票ができないこととなります。

選挙人名簿には、次のような人が登録されることとなります。

- ①日本国民で満二十歳以上の人が
- ②当該市町村の区域内に住所を

有する人
 ③引き続き、三か月以上住民基本台帳（住民登録）に登録されている人

選挙人名簿の登録は、毎年九月と選挙の前に選挙管理委員会によって行われ、一度名簿に登録されると住所などの移動がない限り、永久に登録されることとなります。もし引越など住所を変えたときは、選挙人名簿に登録されるために、必ず

住民票の移動届を出してください。

あなたの一票は、社会をよくするための価値ある一票です。「だれに投票しても同じこと」などと棄権したりしないで、自分の代弁者としてふさわしい人を選ぶよう心がけたいものです。



ボランティア活動を通して 思いやりの心を深めよう

足が弱くなったお年寄りが、大通りの横断歩道を渡るのに困っていたら、わたしたちは思わず駆け寄って声をかけ、一緒に道を渡ろうとするでしょう。ボランティア活動とは、これと同じように思いやりの心を行動で表すことをいいます。

ボランティア活動は、社会のために役立つだけでなく、自分自身の心の糧、自己実現のためにも有意義なことです。総理府の世論調査（昭和58年9月）によると、過去にボランティア活動の経験がある人の3人に2人が、今後またボランティア活動をしたいと答えています。また、「ボランティア活動をしてよかったこと」という質問には、「思いやりの気持ちが深まった」というのが一番多い答えでした。

もし、体の不自由な人や目の不自由な人が、街頭や家の近くにいて困っているときは、恥ずかしがらずに声をかけてください。そして、お年寄りに接するように、何をどうしたらよいかを聞いてください。

そして、一人でできないときは、周りの人たちにも手伝ってもらいましょう。

他人の身になって行動するボランティア活動——あなた自身の人間性が豊かになるだけでなく社会的視野も広がり、生きていくうえで心に大きな潤いを与えてくれることです。



医療を支える

あなたの善意

●はたちの献血キャンペーン●

はたちになったら
国民年金に加入しましょう

昭和六十四年成人式 一月五日 午前十時から佐々町文化会館で行われます！



福祉のまちづくりは

人ごとではなく

あなたが「主役」です

高齢化社会や核家族化が進む今日、生活様式や家庭環境の変化などで福祉に対する問題が一層増加してきました。これからは援助を必要とする人達の福祉は地域住民の手でお互いにささえあうことが必要です。

『共に生きる福祉のまちづくり』こそ、みんなが幸福になる本来の福祉の姿といえるのではないのでしょうか。

福祉は特定の人だけのことでなく町民みなさんの福祉です。

社会福祉協議会では、この『福祉のまちづくり』を考え、積極的に取り組んでおります。

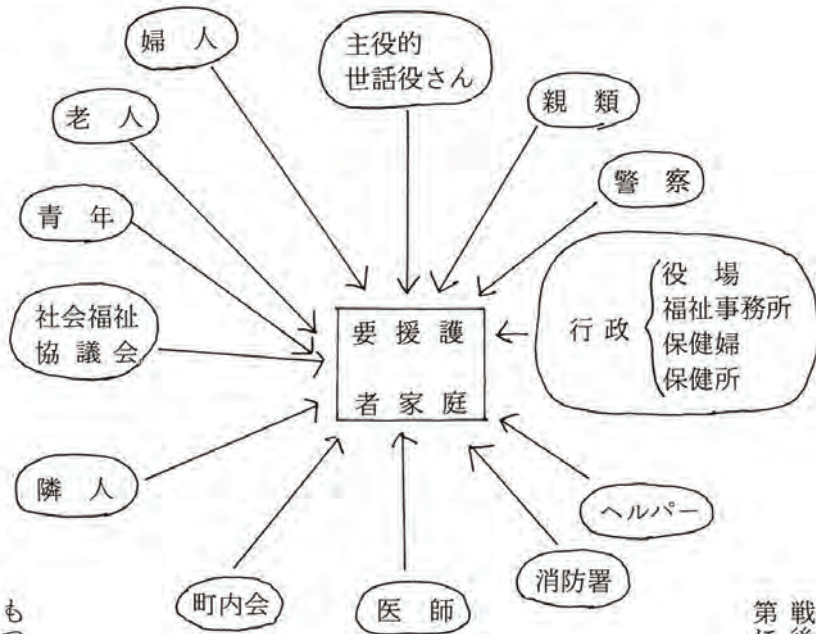
福祉はこう変わる

在宅援助者の

ネットワークづくり

について語る

民生委員総務 川村 久米吉



(ネットワークづくり図)

ネットワーク(網の目)とは「相互に連絡連携しあう」ことで、昔はどの町や村にもネットワークがありました。終戦後、特に現在においては、次第に薄らいだ感じがいたします。

このネットワークづくりは在宅福祉を推進するために、是非必要です。これを実践活動するには何も難かしいことはありません。お互い「やる気」と「思いやり」があればできることだと思えます。例えば要援助者を中心としたネットワークは、一人暮らしやねたきり老人家庭や心身に障害をもつ人々を中心として、この人々が自主した生活を営むことができるよう手をつなぎあって支えあう事であり、図に示したように今後佐々町においても、早急に作りたいたいと思っております。

住民の方々にご協力をお願いいたします。

**職業能力開発
功労者として表彰**
前北松建設技能協会長として活躍いただいた加田有さん(六十九歳)が、永年にわたる職業訓練に対する功績が認められ、職業能力開発功労者として長崎県知事から表彰されました。



これからの福祉を考えて熱心に討議する社会福祉協議会評議委員会から



加田 有さん



西尾 弘毅さん

長崎県の名工として表彰
西尾弘毅さん(中央通町内会・四十六歳)が、優れた技能者(長崎県名工)として長崎県知事から表彰されました。



大瀬 忠祐さん



里元 剛一さん

新任保護司の紹介
法務大臣から次の方々が保護司の発令を受けられましたのでお知らせいたします。
〔発令者〕 昭和63年12月10日付
○里元剛一さん(中央通)
○大瀬忠祐さん(神田)



九州電力から明るいプレゼント

九州電力佐世保営業所では毎年十月にふれあい旬間の「明るく住みよい町づくりキャンペーン」を行なっています。その一環として古川町内会外13ヶ所へ防犯灯の寄贈を受けました。

思いがけない温かいプレゼントに町内の皆さんは大変喜んでおられます。

緑と水の森林基金にご協力を!

緑の羽根募金とともに、このたび緑と水の森林基金が全国規模で創設されました。

◎緑と水の森林基金は、次のような仕事に役立ちます。

- ※貯水、浄水機能をもつ森林の増大と水資源を効率的に利用する運動
- ※水資源を確保するための森林整備推進
- ※農水村だけでなく、国民全体で森林を育てる運動
- ※緑の国際交流をはかり緑の危機を世界的規模で救う運動
- ※人と森のふれあいを増進するための森づくり運動
- ※森や自然を通じての青少年の健全育成を図る運動
- ※住みよい環境をつくるための緑化をすすめる運動
- ※治山、治水事業の効率的導入のための運動
- ※森林の遊歩道や調和のとれた森林基盤整備のための運動

森林は国土を風水害から守りきれいな空気を供給します。わたしたちが飲んでいる水は、この森林で養われているのです。

今年度は緑の羽根募金及び森林基金併せて百円相当の募金のご協力を心からお願いたします。



おめでとう

おめでとう

◎ご結婚おめでとう

氏名 芳ノ浦
夫 佐々木 繁
妻 大賀 昌子

町内会

父の名 母の名
増永 忠夫 美佐子
続柄 出生児

二男 樹

若佐

◎お誕生おめでとう

夫 金丸 健夫
妻 辻 逸子

木場

岩本 勝則 民子
二男 将則

新町

金崎 明広 由美子
二女 智枝美

若佐

石田 稔 ひふみ

長男 龍一郎

浜迎

小野 勝己 伊津子

二女 早織

里

峰野 裕二郎 和子
長女 裕理子

新町

吉永 昭 祐子
二男 直哉

新町

畑田 孝裕 みさと

長女 麻希

口石

◎ご冥福を祈ります

氏名 年齢 町内会

樺山 ツマ
肘井 ヲキシ

67歳

神田

戀塚 ハツエ
永野 静雄

77歳

四ツ井種

肥後 豊喜
福田 ツル

83歳

四ツ井種

土橋 美夫

80歳

市瀬

(十一月十四日まで受付分)

76歳

西町

町長対話の日の変更

64年1月の町長対話の日が、元旦となりますので1月8日に変更します。なお、2月からは予定どおり毎月第1日曜日に行ないます。

新年祝賀会の中止のお知らせ

諸般の事情で、昭和64年の新年祝賀会は中止いたします。

社会福祉協議会だより

☎62-2655

◎香典返しとして

- 故岸川 久磨様
- 市瀬 岸川 シノブ様
- 故内山 イセ様
- 新町 内山 五夫様
- 故宮本 カメ様
- 栗林 宮本 春富様
- 故楠村 萩子様

(故人は口石町内会) 福岡市東区香椎駅東

三一〇一一九

- 故村上 吉郎様
- 東町 村上 キサエ様
- 故土橋 美夫様
- 西町 土橋 セツ様
- 故松本 萬次郎様
- 古川 松本 ヨシ様

老人福祉センターから

◎ 休館日変更のお知らせ

現在までは、毎週月曜日が休館日となっておりますが、一月八日から休館日が毎週日曜日に変更いたします。お間違いないようにお知らせいたします。

家庭薬湯風呂

みかんの皮をよく洗い農薬やワックスを落とし、乾燥させ、風呂に浸してお湯を沸かす。体を暖めて血行を盛んにします。



なやみごとはお気軽に

心配ごと相談所へどうぞ

☎62-2655

(相談は無料・秘密厳守)

♥毎週水曜日 午後1時から
◎場 所 老人福祉センター

相談日	相談員
1月	11日 内山 武次
	18日 福地 ヨシミ
	25日 川村 久米吉
2月	1日 松尾 幸雄
	8日 内山 武次
	15日 福地 ヨシミ

第十八回

佐々町内駅伝競争大会 四ツ井樋町内会初優勝

第十八回佐々町内駅伝競争大会が、十二月四日(日)に行なわれました。

今大会は、北松南高女子チーム(招待)をはじめ総数二十六チームで健脚を競いました。

初参加した勤青女子チームには、各町内会より声援が送られて、盛会の内に終了しました。

上位の成績とタイム
優勝 四ツ井樋町内会
五十八分一〇秒

二位 西消防署佐々出張所
五十九分二十二秒

三位 角山町内会
六十分十五秒

区間賞
一区(31キロ) 大瀬清司
(神田町内会B)
十分三十五秒

二区(17キロ)
福本幸雄
(西消防署佐々)
五分五十秒

三区(13キロ)
大瀬秀樹
(西消防署佐々)
四分十一秒

四区(32キロ)
市山 繁
(友心会)
十一秒四十五秒



チームワークで初優勝をかざった四ツ井樋町内会



体育館裏をスタート先頭を競う第1走者

五区(33キロ) 田島英史
(四ツ井樋町内会)
十一分三十五秒

六区(34キロ) 松本隆治
(四ツ井樋町内会)
十二分五十七秒

躍進賞 口石町内会
(十分五十八秒短縮)

第四回 山田謙三旗争奪

わかあゆ少年駅伝大会にご協力を

一月八日(日)、午前十時から町内の十六チームが参加して、町内一周コースで白熱のレースを展開します。コースの沿道は交通量の増加で警備が非常にむずかしくなります。このため、交通機関をはじめみなさんに一時的にご迷惑をおかけしますが選手の安全のため、ご協力を願います。

- 一、選手の伴走及び移動応援はいっさい禁止
- 二、道路での声援は一般車両の通行妨害とレースの支障にならないように
- 三、沿道の犬は絶対に放し飼いにしないこと

花を添えた勤青ホーム

佐々町勤労青少年ホーム利用者の会では、去る十二月四日、町内駅伝競走に、利用者の増員呼びかけと、ホームを知ってもらう宣伝を目的に男女各一チーム参加し、沿道の盛んな声援を受け見事完走し、大会を盛り上げました。

平日は、勤務をおえの余暇活動として、講座趣味・スポーツ・レクリエーションなどで汗を流し、そして、おしとやかな稽古でもこの日ばかりはと、はつするされました成績は?.....

このように地域行事への参加も又楽しいこととです。

勤労者の皆さん、ホームはいつでも利用されます。あなたのおい出をお待ちしています。



ハッピーを着こんでの勤青ホームチーム

保育所生活発表会

四保育所で実施



第2保育所の劇スナップ

昨年十二月十一日(日)町内の各保育所では、毎日の練習の成果をお父さん、お母さんに披露、かわいい園児のお遊び、劇、歌などに大きな拍手をうけていました。年小組のあどけないしぐさに目を細め、年長組のたくましく打つ

太鼓の響きに心を踊っている様子でした。裏方では、お父さん、お母さん、先生が舞台の準備、お遊びの衣装つけなど大変でした。きっと良い思い出になったことと思います。今年もみなさん頑張って。



かわいいね!



さざなみ保育所のおゆうぎ

水道管にも冬じたく

寒さは水道管の大敵です。気温が-4℃以下になると、とくに北向きの風の強い場所や地上にむき出しになっている水道管や水道メータは、凍ったり破れついたりすることがあります。水道管や水道メータを寒さから守りましょう。



- 冬じたくはこのように
水道管は、保温チューブなどを巻いて保温してください。保温チューブは市販されています。水道メータは、メータボックスの中に砂を入れたビニール袋などをつめるなどして保温してください。
- もし水道管が凍ってしまったら
ジャ口をあけ、タオルや布をかぶせ、ジャ口の方からヌルマ湯をゆっくりとまんべんなくかけてください。熱湯をかけると、水道管やジャ口が破れつることがあります。
- 万一破れつしたとき
止水栓(メータ横のバルブ)をしめ、佐々町指定

管工事店か水道課へ。TEL62-2101
佐々町指定管工事店名

工事店名	電話番号
北松設備(中央)	62-2360
永安管工(土手迎)	62-6355
九州恒産佐々営業所(栗林)	62-2614
佐々設備(中央)	63-2650
東洋技研佐々営業所(中央)	62-6531
昭和建設(四ッ井樋)	63-2120

水道工事にご協力を

- 断水について
水道課では、新しい管の布設や古い管の取替などのため、昼夜の別なく工事を行っています。工事のときや、突発事故で水が出なくなることがありますが、事故以外の理由で水を止めるときは、あらかじめ広報車などでお知らせいたします。
- 道路での漏水について
道路での漏水を発見されたら、お手数ですが、水道課までお知らせくださるようご協力ください。



町立保育所 入所申請受付

さざなみ保育所

昭和六十四年度の保育所園児の入所申請を次の要領で受け付けます。

- 一、入所申請の対象は母親が昼間働いていたり病気などのため家庭で十分保育することができない就



昨年の保育所の生活発表会から

学前の幼児。

母親以外の人が保育できる場合は入所できません。

二、提出書類

(イ)入所申請書

(ロ)母親が働いている場合は勤務証明書、内職の場合は内職証明書、自営業の場合は申立書、病気などの場合は医師

の証明書

(ハ)課税証明書(町民税、固定資産税)

(ニ)給与所得者は事業所からの源泉徴収票

(ホ)確定申告書はその申告書の写し

三、申請受付期間

昭和六十四年一月十六日

から一月三十一日まで

四、申請書用紙等の交付及び提出先

住民福祉課

長崎県立

佐世保中央高等学校

通信生徒募集!

募集定員

◎第一学年 三〇〇名

◎編転入生 若干名

◎一部科目 若干名(高校卒業生や大検を兼ねる者)

入学願書の請求先

佐世保市万徳町九番十四号

長崎県立佐世保中央高等学校

学校通信制

※郵送希望の方は七〇円切手を添えて請求してください

願書受付期間

昭和六十四年三月七日(火)

～四月四日(火)～

入学資格

中学校卒業以上の人

学習方法

イ自宅で報告課題を解答して提出すると添削して返します。

ロ学校での面接指導は月二回程度、巡回指導は月一回程度実施。

ハ教科書、学習書は無償貸付

詳しくは、佐世保中央高校通信制入学係まで

電話22-1161

昭和六十四年度北松建設協同高等職業訓練校

訓練生募集

程度 of 学力を有する者)

一、募集科及び人員

土木科 二十名

三、募集期間

昭和六十四年一月十日から三月末日まで

四、訓練期間(集合教育)

一年間、出校日数は一ヶ月に水曜(夜間)四回、日曜(昼間)二回、計六回、年間六十四回(三百

二十時間)

五、訓練内容

○土木施工、○測量実習

六、講師

佐世保工業高校教諭

七、訓練修了者に与えられる特典

○技能士補資格の付与

○地山の掘削作業主任者抜

能講習科目の一部免除

(修了後二年以上の実務

経験者)

○土止め支保工作業主任者

技能講習科目の一部免除

(修了後二年以上の実務

経験者)以上ですが、あ

くまでも一、二級土木施

工管理技士の免許を取得

出来る実力を身につける

ことを目標にして下さい。

※詳しくは、北松建設協同

高等職業訓練校(技能セ

ンター内)にお尋ね下さ

い。

電話62-6426



新たな年、外は北風、冬の風ガラス張りの図書室の中だまって読むのもいいですよ。

あらゆる本の素晴らしさ。一冊の本から得る教えは、読書の楽しみにつながります。素直な人にお進めします。温和な人に

弱さを知って助け合う知識を学び健全な精神と、豊かな心だけ、いつまでも、待ちつづたいものですね。

自分にあった本の選択は、時間をかけておさがし下さい。

幼ない子供さんをお持ちの御母さん方は今の頃から、図書室と一緒に通われることをお進めします。どうぞ、この一年よろしく

お願い致します。たくさんのご利用をお待ちしております。また資料館の方もご来館下さい。

新刊案内

- 伽羅の香 宮尾登美子
- バアバちゃんの土 曾野 綾子
- 利休の死 小松 茂美
- ダンタシタシ上下 村上 春樹
- 月宮の天上・下杉本 苑子

佐々町の教育史に輝かしい一ページを飾り、多くの人材を生んだ県立第十三高等小学校であったが、創立後六年目の明治二五年には閉校となっている。その前年の明治二四年に旧制中学校の猶興館が平戸に創立されているから、地方の人材教育は、高等小学校から旧制中学校へバトンタッチされたものと思う。

随筆 郷土誌 (167)

宮原 九一郎 佐々町の教育史(二三)

三高等小学校の延長であった。明治の末期から大正を経て昭和の初期まで、佐々の中心人物として活躍した人達の多くは、この組合立高等小学校の卒業生である。さてここで、平戸に中学校が出来て、佐世保にはなぜ中

学校が出来なかったかと疑問を持つ人達に説明しておくが、当時の東彼村郡佐世保村は、淋しい一農村に過ぎず、地の理が認められて鎮守府(軍港)に指定されたのは明治十九年で、鎮守府が開庁したのは明治三二年である。明治二七年の日清戦争の時代までは、元町、八幡町、谷郷町あたりがやっと市街化しただけであったと言っただけで、十三高等小学校時代までは、中学校の建設などとても手が廻らなかつた筈である。当時松浦町から山県町までは、干拓による一面の水田であった。

城と女上・下 楠戸 義昭
和風クルマ定 中部 博
食の疾走

寄付のお礼

故寺崎只男様(佐々町教育委員 中央通)のご遺族から、佐々町公民館図書購入費として多額のご寄付をいただきました。厚くお礼を申し上げます。

銀色のあしあと 三浦 綾子
ぼちぼち草子 田辺 聖子

短歌

越し日日を謝し 新春の幸を祈り
静かに流れる 除夜の鐘きく
昭和六十四年 元旦

田中てい

さぎ川柳会

古傷にさわらぬ妻の思いやり
古傷の痛みが雨を予報する
古傷もふれ道論す少年課
青春の古傷あと残る古日記
古傷へとかく他人は触れたがる
宝刀を抜いて古傷つつく妻
古傷にさわると核が憎くなる
古傷へ追い討ちかけるリクルート
男の子でよかった顔の古い傷
出世頭あの古傷も知らぬ顔
父ちゃんも腕白だった向こう傷
53連勝古傷見せぬプロの技
古傷も一つ程あるお口振り

忘年句会から「古傷」

大徳屋 末太郎
赤木 マチ子
福地 よしみ
松川 房江
辻 智佐恵
宮原 九一郎
出端 九一
松本 静枝
松永 茂
西川 桂流
永吉 いくよ
井上 順一
福島 京子

四ツ井樋 「すこやか子ども館」 里町内会

学童農園で集団合宿

忍耐力・思いやり育てる

3泊4日

甘えん坊で自立心に欠ける現代っ子と、親たちに、「親離れ」、「子離れ」を経験してもらおうと、佐々町学童農園に小・中学生を集団合宿させ、通学させる「すこやか子ども館」を三泊四日の日程で四ツ井樋（十一月二十三日）



二十六日37名）、里（十二月八日）十一日41名）両モデル町内会子ども会が実施しました。指導には、地域の大人などが当たり、なるべく大人の手に

公民館だより愛読者の皆さん！

あけましておめでとう
ございます。

社会教育を考えると、社会状況を切り離して、その目的や方法を求めることはできない。

学校教育と同じ「教育」ということばを使う社会教育は「教える」ための色々な条件がそろっているのではなく、一般社会の不定定な人々の期待に対する学習を援助する立場が強いので、常に期待される学習を準備しておかなくてはならない。

しかし、多様な学習内容を持たず、豊富にあつめるといふ意図のものではなく、期待されているものと、期待されなければならないものと、両方

を借りず、上級生が下級生の世話をし、下級生は、上級生に学ぶ。また期間中の自由時間はお年寄りとの交流、集団遊び、手作り体験などを行なっていました。

を共に考えておこなうてはならないのである。

期待されている社会教育はあくまでも、その「よし」「あし」にかかわらず、一般社会の生活や行動意識であって

とか、「……しなければなら

社会教育が

「期待するもの」

（昭和63年をふりかえって）

ない」とかいうものでもない。

それは期待されなければならぬ部類にはいり、未本であって、特に社会教育は、現実を直視して、社会の現実から、先ず、とりかかる必要がある。

例えば、一般に、公民館活

ねらいは、

一、集団生活を通じて、子どもの自立心、社会性、連帯感、思いやり、感謝の心、忍耐力を育てる。

二、親にも子離れ体験を通じて、過保護、放任などの家庭教育を見直してもらおう。

三、地域の子どもは地域で育てるといふ地域の教育力を高める——などに留意しました。

その成果は、子どもたちにも親たちにも好評を得ました。特に、それぞれの町内会で子離れを経験した母親の学習会では、この事業に対し、深い関心を高められました。

なお、紙面の都合により、この模様は、佐々町少年健全育成会が近く発行します広報「さざんか」へ掲載する予定です。

動で「趣味の学習」に参加者が多いのは、他の教育的学習より一般の期待が大きいからである。

しかし、もちろん、それが期待される公民館活動として位置づけられ、それに満足して終わるものでないことは、

ことでは共通している。前者は義務的であり、後者は期待性を重視している。

社会の人々がどういうことを期待し、どういうことを学習したいのか「待つ公民館から、求める公民館へ、公民館が一般社会に期待しなければならぬ学習をいかにして開発し普及していくか、そのために、よく社会を知り、地域の状況を調べ、その方法を研究していく、これからの社会教育の「期待」があるような気がする。

新年にあたり思考を述べさせていただきましたが、今後とも町民皆さんの英知とアイデアを求め、社会教育の推進に努めたい。



消費者モニター募集

役場のでんわは
☎2101です

1月のお知らせ



妊婦相談・学級

と き 1月12日(木)
 受付期間 13時30分~14時
 妊婦教室 14時~15時30分
 内 容 妊婦体操と
 お産の補助動作
 ※同時に母子健康手帳を交付し
 ます。
 次回は、2月9日(木)です。

乳児相談

と き 1月12日(木)
 対 象 児 生後9~12ヶ月児
 と き 1月19日(木)
 対 象 児 生後5~8ヶ月児
 と き 1月26日(木)
 対 象 児 生後1~4ヶ月児
 ※生後5ヶ月児には尿検査用紙
 を配布します。
 受付時間はいつでも
 9時30分~10時

1歳6ヶ月児健診

と き 1月13日(金)
 受付期間 13時~13時30分
 対 象 児 昭和62年5月1日
 ~6月30日生
 (詳しくは個人通知します。)

3歳児健診

と き 1月13日(金)
 受付期間 9時~9時30分
 対 象 児 昭和60年5月11日
 ~7月15日生
 (詳しくは個人通知します。)
 ※1歳6ヶ月児検診及び3歳児検診
 の日程が変更になりました。
 お詫び申し上げます。

休日在宅当番医日程表 午前9時から午後5時まで

1	日	佐々町立診療所	佐々町	62-2405
2	祭	徳田医院	〃	62-2025
3	祭	山田医院	〃	63-3611
8	日	平井産婦人科	〃	62-3903
15	日	富田医院	小佐々町	68-2046
16	祭	徳王医院	〃	68-2120
22	日	田中医院	〃	69-2521
29	日	中央松瀬医院	吉井町	64-2105
2/5	日	福井診療所	吉井町	64-2112

健康テレホンサービス 佐世保(0956)

23-4300

—24時間 電話を通して
健康情報をおとどけます—

◇1月のテーマ◇

- 月 肺気腫
- 火 むちうち症の話
- 水 おたふく風邪
- 木 コンタクトレンズ装用の注意
- 金 歯の外傷
- 土・日 子宮内膜症



確定申告の準備はもうお済みですか

確定申告の時期が近づいてきました。
 期限間近になって慌てないように、早めに準備をしましょう。
 申告期間は二月十六日から三月十五日です。
 なお、還付申告は、一月か

タコあげは電線のないところで

ら受け付けております。早めに申告を済ませてください。詳しいことは平戸税務署へ ☎0950-2312131
 タコあげのシーズンです。お父さま、お母さまへお願い。
 電線の近くでは、タコを絶対あげないように、お子様へご注意ください。
 もしタコが電線にかかったら、危険ですから、自分でとらずに、最寄りの当社営業所へご連絡ください。
 ○電柱にのぼって取るのはやめましょう。
 ○電線を竹ざおでつづくのは大変危険です。

九州電力

